

平成30年度

教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検及び評価報告書

令和元年9月

根室市教育委員会

## 目 次

I	はじめに	P 1
II	点検評価の基本方針	P 1
III	点検評価の結果	P 3
	(1) 「確かな学力向上」に向けた取組の推進	P 3
	(2) 「豊かな人間性の育成」に向けた取組の推進	P 9
	(3) 特別支援教育の充実	P11
	(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実	P13
	(5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実	P17
	(6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実	P20
	学識経験者の意見（総評）	P32

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされております。

本報告書は、同法に基づき教育委員会が行った平成 30 年度事務事業の点検評価の結果をまとめたものです。

## II 点検評価の基本方針

### 1 目的

教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表します。

この点検評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

### 2 点検評価の対象及び方法

本点検評価の対象は、前年度（平成 30 年度）の事務事業の実績とし、その範囲は、学校での学習指導・生徒指導に関することや、社会教育に関することなど、地教行法第 21 条で「教育委員会の職務権限」と規定されている事務をはじめ、市長の補助執行として行っている事務など、本委員会が所管する全ての事務事業としています。

当教育委員会では、毎年、教育行政の取組方針を教育行政方針として策定し、市議会に示しておりますが、本報告においては、平成 30 年度の教育行政方針に掲げられた主な施策の実施状況等を参考としながら、その管理及び執行の状況について点検評価を実施いたしました。

### 3 学識経験者の知見の活用

本点検評価の実施にあたっては、地教行法第 26 条第 2 項の規定により、3 名の学識経験者から個別に意見を伺い、その知見の活用を図りました。

なお、学識経験者は、学校教育分野及び社会教育分野において教育や人材育成に携わり、高い見識を有する方から選任し、幅広い観点での知見を活用するよう努めたところです。

○ 松 井 信 輝 氏 元根室市立花咲小学校校長

○ 原 田 純 子 氏 根室市社会教育委員長

○ 砂 山 和 大 氏 根室市PTA 連合会会長

〔参 考〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### Ⅲ 点検評価の結果

#### (1)「確かな学力向上」に向けた取組の推進

##### 執行方針

現在の根室市の児童・生徒の学力につきましては、全国学力・学習状況調査や、標準学力検査いわゆるCRTの結果において、国語における「読むこと」や、算数・数学における「量と測定」、「関数」など、特定の領域・分野において正答率が落ち込んでいることが明らかとなっております。

- 中でも「読むこと」は全ての教科学習の基盤であり、昨年度から3か年を取組期間とする「根室市確かな学力向上に関する取組方針」においても、「聞く」「話す」「読む」「書く」の徹底や言語活動の充実が最重点課題の一つとしているところであり、今後とも、本方針に基づき、学校、家庭・地域、教育委員会が連携して、子どもたちの学力の向上に取り組んでいく必要があります。
- そのため、学校におきましては、これら各種調査の分析結果に基づき、個々の児童・生徒の弱点や課題を整理し、その要因を明確にして授業改善に活用し、各学校の状況に応じた学力向上への取組を進めてまいります。
- さらに、学力向上等補助教員を活用した習熟度別指導、チーム・ティーチングなどにより、個に応じたきめ細かな学習指導を推進し「わかる・できる・楽しい授業」の実践につなげ、日常的な教育活動の充実を図ってまいります。
- また、指導方法の具体的な工夫改善策を実践するためには、教員の指導力の向上が不可欠であることから、学力向上対策の先進地域に教員を派遣し、さらに次年度以降は同地域から教員を招聘(へい)し、調査・分析・研究を行い、当市の教員の「授業力の向上」を図ってまいります。
- さらに、学習意欲や学習時間などに問題を抱える児童・生徒が多い現状から、「生活リズムチェックシート」の活用など、家庭での学習習慣や規則正しい習慣の定着化による「学びの環境づくり」に学校・家庭・地域が一層連携して取り組み、子どもたちの「自ら学ぶ意欲」の向上に努めてまいります。

主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
学校評議員の全校委嘱	市内小中学校	55名	
学校評議員会議の開催	市内小中学校	24回	
学校評価の実施	市内小中学校	15校	
初任段階研修	各学校他	41名	法定研修 (1年次8名、2年次8名、3年次6名、4年次6名、5年次10名、養護2年次1名、養護3年次2名)
中堅教諭等資質向上研修	各学校他	8名	法定研修
各種教員研修	北海道教育研究所他	214名	
校内研修の実施	市内小中学校	15校	
学力向上プロジェクト推進会議による先進地視察研修	富山県黒部市 石川県羽咋市	10名	校長1名、教諭9名
指導主幹の学校経営訪問	市内小中学校	34回	
指導主事等の学校派遣	市内小中学校	29回	
校長連絡会議	総合文化会館	12名	13回
教頭連絡会議	総合文化会館	14名	12回
北海道教育大学釧路校新入生研修	花咲港小学校 海星小中学校 落石小学校 厚床小中学校	34名	大学生研修
北海道教育大学釧路校へき地校体験実習	花咲港小学校	2名	大学生研修
根室市教育研究会との連携	各小中学校など		
学力向上補助教員	北斗小学校 花咲小学校 成央小学校 齒舞小中学校 光洋中学校 柏陵中学校 啓雲中学校	1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名	

指導方法工夫改善教員定数加配	北斗小学校 花咲小学校 光洋中学校 柏陵中学校	1名 1名 2名 2名	教職員定数の加配
退職教員等の外部人材活用事業時間講師の配置	北斗小学校 花咲小学校 成央小学校 柏陵中学校	1名 1名 1名 1名	
理科備品整備事業	各小中学校	12校	小 348千円 中 250千円
総合学習推進事業	各小中学校	15校	
水産教育の推進	歯舞小学校 歯舞中学校	95名 52名	
語学指導の充実	小学校8校 中学校7校	1名 2名	民間人講師(1名) 外国語指導助手(2名)
全国学力・学習状況調査の実施	各小中学校	199名 184名	小学校6年 中学校3年
夏休み学習サポート教室の開催	別当賀夢原館	1名 7名	小学5~6年 中学3年
児童生徒支援教員の加配	成央小学校 光洋中学校 柏陵中学校 啓雲中学校	1名 1名 1名 1名	
キャリア教育の実施	市内中学校	7校	職場体験学習等
愛鳥活動モデル校	厚床小学校	23名	北海道指定
スクールバスの運行	10路線 8小中学校	178名	
遠距離通学費の支給	北斗小学校 光洋中学校	2名 7名	
学校健診の実施	各小中学校	1,679名	
全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施	各小中学校	211名 197名	小学校5年 中学校2年
主体的・対話的で深い学びの推進事業の実施	北斗小学校		文科省指定

### 施策評価

- 学校評価については、自己評価及び学校関係者評価が全ての小中学校で実施されており、学校の経営改善に効果をあげている。
- 教職員研修については、初任段階研修、在職期間が10年に達した教諭等を対象とした中堅教諭等資質向上研修などに、関係する教職員が積極的に参加し、研鑽を積んでいるほか、

また、北海道立教育研究所主催の研修や校内研修などを通じて教職員の育成が図られている。  
また、当教育委員会と北海道立教育研究所との共催により研修会を実施し、教員の指導力向上に努めている。

- 教育局の指導監及び指導主事並びに市教委の学校教育指導主幹による学校教育に係る専門的事項の指導を小中学校全校に対し実施し、学校教育の充実を図っている。
- 校長会、教頭会との連絡会議を毎月開催し、教育委員会からの指示、連絡事項を直接伝え、校長、教頭との連携を密にして円滑な学校教育の実施に努めている。
- 北海道教育大学釧路校と協定し、新入生研修や体験実習を受け入れ、へき地校の実態に直接触れることで、今日の教育の諸課題に対応する高い教育実践力・諸課題解決能力を持つことができるよう寄与している。
- 学力向上や生徒指導等の教育課題の改善を目的とし、北海道公立小中学校教職員広域人事要項に基づき、他管内との人事交流を実施している（中堅教員の受入れ1名、若手教員の派遣2名）。また、根室市の教職員の年齢構成が偏り若年教員が多いことから、管内人事を活性化して、年齢構成の適正化を図る必要がある。
- 市内の教職員で組織する根室市教育研究会の研修活動は、教職員の資質向上や教師力の向上など学校教育に果たす役割が大きいことから、連携に配慮するよう努めている。
- 標準学力調査（CRT）の結果に基づき、児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握し、各学校における学習指導の充実に資するため、教職員を中心とした根室市学力向上プロジェクト推進会議を設置し、調査結果分析、指導方法の工夫改善及び授業改善に努めている。また、学力向上対策に成果を上げている地域（富山県黒部市、石川県はくいし羽咋市）へ校長1名、教諭9名を派遣し視察研修を実施し、その結果レポートを全教員に配布し、教職員の授業力向上を図っている。
- 文科省事業「主体的・対話的で深い学びの推進事業」（平成30年度から令和元年度）を受託し、北斗小学校を研究指定校として学力向上のための基礎的知識・技能の習得に向けて、検証改善サイクルを基盤とした授業改善を図る学校組織構築の調査・研究に取り組んでいる。
- 「根室市確かな学力向上に関する取組方針」に基づき、各学校において、家庭での学習習慣定着の必要性を保護者に訴えるなどの取組を行っている。
- 指導体制の充実を図るため、市費により学力向上等補助教員を北斗小学校・花咲小学校・成央小学校・歯舞小中学校・光洋中学校・柏陵中学校・啓雲中学校の7校に各1名配置し、習熟度別指導、ティーム・ティーチング指導、放課後補習指導や長期休業中の補習等を行い、

きめ細かな指導と確かな学力の定着を図っている。なお、一部の学校において通年配置することができず、人材確保に課題が生じている。

- 北斗小学校、花咲小学校、光洋中学校、柏陵中学校の4校で教員定数の加配を受けて、指導方法の工夫改善事業として習熟度別指導やチーム・ティーチングを実施し、生徒個々に応じたきめ細かな学力の定着を図っている。
- 各学校において、学力向上に向けた具体的な取組を学校経営方針に位置付けさせるとともに、進捗状況や効果について、定期的にヒアリングを実施している。
- 国の補助を得て、全ての小中学校において理科備品整備を実施しており、より効果的な学習環境を確保するため、今後も継続的に整備を続けていく必要がある。
- 朝読書、朝学習、補習授業を全ての小中学校で実施している。
- 総合的な学習の時間を推進し、地域の人材を講師として活用し、自ら学び自ら考える力の育成を図っている。
- 特色ある学校づくりの一貫として水産教育を実施している学校及びPTAに対し、その活動を支援し産業教育の振興を図った。
- 語学指導の充実と国際理解を図るため、英語を母国語とする外国語指導助手を招致し、小中学校における語学の習熟と国際理解の推進に成果をあげている。また、平成30年度から外国語指導助手を2名に増員し、新学習指導要領における小学校外国語活動の先行実施に向けた体制を充実した。
- 市内の英会話スクールと契約し、小学校へ外国人講師を派遣し、児童が外国語について興味関心を持つよう取組を行っている。
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、引き続き、学力向上に向けた取組を徹底するとともに、学校全体の学習環境の見直しや正答率の低い児童生徒の学習状況を改善するなどの取組を行っている。
- 成央小学校・光洋中学校・柏陵中学校・啓雲中学校の4校で教員定数の加配を受けて、児童生徒の生徒指導上の支援の改善を図っている。
- 子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会人・職業人として自立していくことができるよう、キャリア教育の推進が強く求められており、全ての中学校で職場体験等を実施している。
- 厚床小学校では、学校周辺の森を自然学習の場として活用し、北海道の愛鳥活動モデル校の指定を受けており、野鳥観察などを通して自然や環境に対する学習を深めるなど、著しい成果をあげている。

- 通学の負担の大きい地域の児童生徒に対するスクールバスの運行や路線バス代の支給を行い、通学の安全確保を図っている。
- 学校健診の実施を通じて、児童生徒の健康の増進を図り、学校教育活動の円滑な実施に大きな効果をあげている。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学校第5学年、中学校第2学年）において、小学校では、男女ともに全国平均を上回る種目も見られたが、中学校では、男子の握力を除くほかは全種目が全国平均を下回る結果となったことから、中学校の喫緊の課題として体力・運動能力向上対策を検討する必要がある。
- 学校においては、「生活リズムチェックシート」を活用し、家庭での学習習慣や規則正しい生活習慣の定着化に取り組んでいるが、全国学力・学習状況調査の結果においては、テレビゲーム等のゲーム関係や携帯電話・スマホ等の利用に使われる時間が著しく長く、学習活動や家庭とのコミュニケーションづくりにも大きな影響を及ぼしていることから、各学校の実態に応じながら「スイッチオフ22」を全校で取り組んでいる。
- 中学校の部活動について、平成31年3月に「根室市中学校に係る部活動の方針」を策定し、休養日や活動時間の設定により、けがの防止や心身のリフレッシュを図るほか、生徒のバランスのとれた生活や心身の成長への配慮するための環境整備を進めている。

## (2)「豊かな人間性の育成」に向けた取組みの推進

### 執行方針

子どもたちが、互いを尊重し合い、思いやりの心や感謝の気持ちを育みながら、規範意識を向上させ、社会の一員として成長していくためには、学校・家庭・地域が連携し、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

- そのため、まず、心の教育にかかわりましては、今年度から正式教科となる道徳の授業を要(かなめ)としながら、学校の教育活動全体を通して、子どもたちが自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養ってまいります。
- また、国における「いじめの防止等のための基本的な方針」の改定を参酌して「根室市いじめ防止基本方針」の改定を行うとともに、引き続き本方針に基づき学校・家庭・地域・関

係団体との連携体制の充実に努めながら、啓発・学習などに取り組み、いじめの根絶を目指してまいります。

- さらに、「北方四島における共同経済活動」が進展する中であって、今後とも、北方領土問題の学習を深め、未来に向けて考えていく態度を養うため、各学校において副読本や各種教材、資料コーナー等の活用を図りながら、返還要求原点の地としての積極的な取組を継続し、郷土を愛し、発展させていこうとする気持ちを育ててまいります。

**主な事業内容等**

事業名等	場所等	参加者等	備考
根室市青少年問題協議会 いじめ対策専門部会	総合文化会館	14名	
いじめ相談室の開設	青少年相談室内		
電子メールを活用したいじめ相談 の実施	根室市ホームページ		
子ども会議の開催	総合文化会館	68名	2回開催
スクールカウンセラー活用事業	北斗小学校 成央小学校 光洋中学校 柏陵中学校 啓雲中学校	5名	北海道委託事業
適応指導教室『ふれあいくらぶ弥生』 の開設	ふれあいくらぶ弥生	6名	不登校児童生徒の通級
人権擁護委員会事業の取り組み	各小中学校	15校	人権作文、人権の花
子ども安全ネットによる情報発信	電子メール	15回	
防犯教育の推進	各小中学校	15校	
子ども110番の家	根室市内	176箇所	
北方少年少女塾への参加	小学校4校 中学校5校	176名 286名	北斗小・厚床小・成央小・ 歯舞小・光洋中・柏陵中・ 歯舞中・啓雲中・海星中
北方四島交流訪問事業への参加	中学校2校	7名	歯舞中・啓雲中
北方領土弁論大会への取り組み	7中学校	10名	光洋中・柏陵中・落石中・ 厚床中・歯舞中・啓雲中・ 海星中

## 施策評価

- 北海道教育委員会のスクールカウンセラー事業を活用し、北斗小学校・成央小学校・光洋中学校・柏陵中学校・啓雲中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒の悩み相談や、保護者の相談、教員へのサポートを通じ、安心して学校生活を送ることができるよう活動を行い、配置校から高い評価を得ている。
- いじめ相談室の開設やインターネットや電子メールでのいじめ相談ができるホームページを開設し、面談、電話を含め相談しやすい環境づくりに配慮している。
- いじめや問題行動への対応においては、いじめを受けた児童生徒の生命及び心身を保護することが最も重要であることを認識し、学校、家庭、地域住民、行政その他の関係者の連携の下、「根室市いじめ防止基本方針」を改定し、地域全体でいじめ問題を克服することを目指している。
- 「いじめのない明るい学校づくり」をテーマに子ども会議を開催し、子どもたちが主体的に考える機会をつくとともに、児童会・生徒会が中心となって課題を解決するため、子どもたちの自治力向上を図っている。
- 適応指導教室を開設し指導員及び相談員を配置して、各学校と連携を図りながら不登校の問題を中心に児童生徒及び保護者に対する相談活動などにより支援に当たっており、引きこもり傾向の強い不登校児童生徒に対しては、適切な働きかけをさらに継続していく必要がある。
- 学校、北海道教育委員会、子ども子育て課、児童相談所、警察などと連携を図り児童生徒の問題行動及び児童生徒に対する虐待の疑いについて迅速かつ適切な対応を行っている。
- 人権擁護委員会と法務局との協力により人権作文と人権の花運動を実施し、児童生徒が思いやりの心を体得し豊かな人権感覚を身に付けることに効果をあげている。
- 子どもの緊急避難場所となる子ども110番の家について、市内176箇所を登録しているが、商店の廃業などにより、登録件数は減少傾向にある。
- 市内小中学校では、警察と連携して防犯教室を積極的に実施し、児童生徒に犯罪を避ける力をつけさせるとともに、教職員も訓練を通して危機管理能力の向上を図っている。
- 子ども安全ネットによる電子メールの発信により、不審者情報の共有化と保護者の防犯意識の高揚を図っている。
- 様々な対策をとっているにも関わらず、不審者による声掛け事例が後を絶たないため、より一層関係機関が一体となった安心安全体制の確立を図ることが必要である。

- 小中学校においては、北方領土に関する展示コーナーの設置、北方少年少女塾への積極的な参加や中学生の弁論大会などを通じて北方領土学習の推進を図っている。

### (3) 特別支援教育の充実

#### 執行方針

根室市においては、特別な支援を要する児童・生徒の割合が増加しており、こうした子どもたちに対して、個々のニーズに応じた早期からの一貫した支援を引き続き図っていくことが大切です。

- そのため、こうした児童・生徒の学習活動を支援し、教員の円滑な授業をサポートする特別支援教育支援員について、特別な支援を要する児童・生徒の在籍状況を踏まえながら、複式教育の特殊性を考慮して小規模校に増員するなど、今後とも教育環境の充実を図ってまいります。
- また、指導方法等について研修会を開催し、指導・支援に携わる関係者の理解を深めるとともに、引き続き市独自の「子育てファイル”りんくす・ねむろ”」の全市的な普及や効果的な活用に努め、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行ってまいります。
- さらに、障がいの多様化や重複化を背景に、将来の自立につながる専門的な教育を、できる限り身近な地域で望む声に応え、今後とも、特別支援学校分校・分教室の根室市誘致の実現に向けて、北海道教育委員会に対し要望を重ねてまいります。

#### 主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
特別支援学級の設置	各小中学校	74名 37名	小学校7校20学級 中学校6校17学級
通級指導教室の設置	花咲小学校	52名	
通級指導の充実	花咲小学校	4名	担当教員の加配
特別支援教育コーディネーターの指名	各小中学校	15校	
特別支援教育校内委員会の設置	各小中学校	15校	

特別支援教育支援員の配置	市内 11 校	12 人	北斗小学校 2 名
介助業務員の配置	啓雲中学校	1 名	
就学指導の実施		71 名	児童生徒の状態に応じた適切な教育措置の決定
特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業	12 校	71 人	児童生徒の指導に対する支援
子ども発達支援事業・専門支援事業	7 校	31 人	専門家による学校支援
巡回教育相談の実施	花咲小学校	4 名	
根室市教育支援委員会の開催	文化会館他	45 名	医療関係者 2 名 学識経験者 1 名 教育行政関係 2 名 保健行政関係 1 名 福祉行政関係 1 名 学校関係者 26 名 福祉施設関係 4 名 民間幼稚園・保育所 8 名
特別支援教育専門員の配置	教育委員会	1 名	
特別支援教育専門員の研修	札幌市	1 回	ポリヴェーカル理論研修
根室市育ちと学びの相談室『りんくす』の設置	教育委員会	1 カ所	
子育てファイル「りんくす・ねむろ」の配布	各世帯	218 人	母子手帳配布時及び中学 3 年生以下転入時に配布
根室市特別支援教育研修会	文化会館他	2 回	参加者延べ 95 名

## 施策評価

- 北海道教育大学釧路校教授を講師に招き、全教職員を対象とした研修会を開催し、通常学級における教育支援について理解を深めている。
- 特別支援教育支援員を市内 11 小中学校に拡充して配置し、通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒への支援を行っており、特に支援を必要とされる児童生徒が多い学校に対しては、複数配置を行い、体制の充実を図っている。
- 通常学級における学習活動上の支援を必要とする子どもに対し、介助業務員を配置して支援を行い、学校における教育環境の整備に努めている。

- 入学や進級に当たって教育措置の検討が必要な幼児・児童生徒に対し、教育相談や就学指導を行い適切な教育措置の決定を行っている。
- 北海道特別支援教育センターからの相談員の派遣により、障害を持つ児童生徒の状況や就学についての保護者相談を実施し、適正な就学の決定に役立てている。
- 道立特別支援学校からのパートナー・ティーチャーの派遣により、特別に支援を必要とする児童生徒について、より専門的な助言・援助を受け、特別支援教育の質の向上を図っている。
- 特別支援教育の要となる特別支援教育コーディネーターの専任化を含め、特別支援教育推進のための教員の加配措置について、継続して国に働きかける必要がある。
- 花咲小学校に開設の通級指導教室に担当教員を4名配置し、発達障がい児に対する特別支援教育を行っている。また、高等学校における通級指導が制度化されたことに伴い、切れ目の無い継続した支援を可能とするため、中学校における通級指導の実施に向けて、調査・研究を進める。
- 市が実施する子ども発達支援事業を活用し、特別な支援を必要とする児童生徒が、作業療法士等の専門的支援を受ける機会を確保している。
- 乳幼児期からの一貫した支援を目指し、教育・保健・福祉分野の多岐にわたる相談業務や関係機関との連携体制の構築、特別支援教育の充実を図るため、「根室市特別支援教育専門員」を教育委員会事務局に配置し、「根室市育ちと学びの相談室『りんくす』」を設置している。
- 市独自の「個別の教育支援計画」の基本ツール「子育てファイル『りんくす・ねむろ』」を、乳幼児から中学生までを持つ全家庭に配布している。

#### (4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

##### 執行方針

児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中であって、今後とも、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、教育環境については、計画的な整備を進めていくことが求められます。

- そのため、まず、小中学校の適正配置につきましては、根室市立小中学校適正配置計画に基づき、引き続き保護者、地域の方々に対し丁寧な説明を継続のうえ、市民の皆様のご意見・

ご要望を集約・分析し、市街地の中学校の配置のあり方について、今年度、最終的に判断してまいります。

- また、小中一貫・連携教育の推進につきましては、小中一貫教育の実践のため新たに学校教育法に定められた「義務教育学校」の設置を検討することとし、今後、関係する学校との連携や、保護者や地域の理解を得ながら、その円滑な導入を目指し、小中一貫・連携教育の高度化に取り組んでまいります。
- 併せて、小中一貫・連携教育の推進が大きな成果を上げるためには、学校と地域との連携・協力関係を深めることが重要であることから、関係する学校において、保護者や地域住民の方々が学校運営に積極的にかかわるための学校運営協議会を設置し、本市におけるコミュニティスクールの導入を目指してまいります。
- 次に、学校におけるICTの利活用につきましては、このたび策定した教育情報化推進計画に基づき、今後、授業を効率的、効果的に進めるうえで望ましいICT環境等のあり方を見据えながら、学校における情報化を推進してまいります。
- また、児童・生徒数の減少に伴う今後の学校給食供給数の見通しや、施設の老朽化等を踏まえ、花咲学校給食共同調理場を廃止し、新たに北斗・成央・光洋の3共同調理場体制の下、学校給食共同調理場の再編・効率化を図り、学校の教育活動に支障のない安定的な学校給食の供給に向け、環境整備に努めてまいります。

### 主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
安全な学校給食の実施	各小中学校	1,729名	
ふるさと給食の実施	各小中学校	3回	
学校安全計画及び避難マニュアルの策定	15小中学校	—	
中学校情報教育用コンピュータの入替	7中学校	181台	
学校閉庁日の実施	15小中学校	15校	長期休業中の9日間

【市街地地区適正配置に係る説明会開催状況】

月 日	内 容	参加者	場 所
1月23日	花咲小学校PTA説明会実施	11名	花咲小学校
1月25日	光洋中学校PTA説明会実施	16名	光洋中学校
1月30日	花咲港小学校PTA説明会実施	9名	花咲港小学校
1月31日	北斗小学校PTA説明会実施	29名	北斗小学校
2月 1日	成央小学校PTA説明会実施	3名	北斗小学校
2月 5日	啓雲中学校PTA説明会実施	4名	啓雲中学校
2月 7日	柏陵中学校PTA説明会実施	8名	柏陵中学校
2月 8日	町内会説明会実施（北斗・柏陵校区）	1名	総合文化会館
2月12日	町内会説明会実施（花咲・啓雲校区）	8名	総合文化会館
2月13日	町内会説明会実施（成央・光洋校区）	4名	総合文化会館
2月15日	町内会説明会実施（花咲港連合町会）	17名	花咲港会館

【学校施設や教員住宅の整備のための主な取組み】

（単位：千円）

事 業 名 等	事 業 内 容	事業費
小学校トイレ整備事業	北斗小学校トイレ整備工事	37,746
小中学校消防用設備等整備事業	消防用設備等改修工事	2,421
小学校校舎及び教員住宅営繕事業	市内8小学校・教員住宅の営繕（主なもの） ・花咲小学校避難階段改修工事 ・各学校暖房機器修理 ・各教員住宅補修	20,871
中学校校舎及び教員住宅営繕事業	市内7中学校・教員住宅の営繕（主なもの） ・啓雲中学校地下タンク改修工事 ・各学校暖房機器修理 ・各教員住宅補修	10,245
小学校教育環境整備事業	・小学校屋外遊具の整備 ・児童用机の天板購入及び黒板の貼り替え等 整備	11,886

中学校教育環境整備事業	生徒用机の天板購入及び黒板の貼り替え等整備	1,378
教職員住宅環境整備事業	教員住宅解体工事	4,401

### 施策評価

- 「根室市立小中学校適正配置計画」について、市街地地区4小学校及び3中学校のPTA並びに校区内の全町内会を対象として説明会を開催し、いただいたご意見を反映の上、平成31年3月に計画を改訂し、光洋中学校と啓雲中学校の令和3年4月統合や、柏陵中学校・花咲小学校の移転計画を進めている。
- 北斗小学校のトイレを洋式化するとともに、床や壁を明るい色にし、照明器具をLED化することで、使いやすく、明るい清潔感のあるトイレを整備した。
- 小学校の遊具について、専門業者の点検において劣化の著しい遊具を撤去し、新たに学校からの要望に基づき6種類の遊具を設置した。
- 民間活力を活用した教職員住宅の新築整備を目指し、老朽化した空き家住宅を解体し、建設用地の確保に努めている。
- 根室市通学路安全プログラムに基づき、関係機関と連携して通学路における危険箇所の合同点検を実施し、通学路の安全確保を図っている。
- 根室市における教育情報化の方向性を明らかにするため、平成30年2月に根室市教育情報化推進計画を策定し、環境整備を進めている。
- 地場食材や道産食材を活用した「ふるさと給食の日」を3回実施し、実施日には、児童生徒に使用食材に関するパンフレットを配布し、食育の推進を図っている。
- 給食の安全と地産地消をさらに進めるため、新たな給食調理施設の建設について、今後更に、国庫補助制度の活用等の財源確保策を検討する。
- 学校における働き方改革を進めるため、「学校における働き方改革のための業務改善計画」を策定し（平成31年3月改訂）、学校、家庭、地域、行政が密接に連携し、教員が本来担うべき業務に専念できる環境整備を進めている。

## (5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

### 執行方針

子どもたちが、異なる年齢の人たちとの交流を通じ、さまざまな体験を積み重ね、豊かな感性や情操を育成していくためには、地域コミュニティが中心となり、地域で子どもを育てる取組の充実を図ることが大切です。

- そのため、今後とも、市内の企業・団体などと連携・協働しながら、地域の専門的な知識・経験を有する人材を活用した教育活動等に取り組み、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めてまいります。
- また、子どもたちが異年齢の仲間とさまざまな体験活動などを積極的に行うことができるよう、地域住民や学校、関係団体などと協働しながら、各種事業を着実に推進するとともに、引き続き青少年活動リーダーの養成に努め、青少年の健全育成を進めてまいります。
- さらに、子どもの放課後活動につきましては、放課後教室等の指導員確保のため、「子育て支援員」の養成研修会を市独自に実施し、新たな人材の掘り起こしや確保を図るとともに、「放課後子どもプラン」に基づき、地域の方々の参画・協力を得ながら、すべての子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる居場所づくりに努めてまいります。
- 次に、子どもたちの読書活動の推進につきましては、「根室市子ども読書活動推進計画」の趣旨に沿い、子どもたちが自主的な読書活動を行うことができる環境づくりを進めるため、「ブックライフ応援事業」として乳幼児や小学校1年生児童に対する「ブックスタート事業」・「セカンドブック事業」を継続して実施し、子どもたちと本との出会いを支援してまいります。
- また、家族での「家読（うちどく）」の普及や図書館の利用促進、各種の読書普及活動などを進めるほか、セカンドブック事業で子どもたちに贈る絵本の作家による講演会を開催するなど、子どもたちの読書習慣の形成や読書意欲の向上に努めてまいります。

### 主な事業内容等

#### 【子どもの放課後活動】

事業名等	場所等	開催日	参加者等	備考
「教えて地域の先生」	市内小中学校	4月～3月	427名	7回

人材バンク事業	市内	4月～3月	68名	放課後教室関係 など
子ども会リーダー研修	総合文化会館他	6/24～ 12/1	51名	6回
第34回子ども 長靴アイスホッケー大会	市営アイスホッ ケーリンク	2/3	21名	3チーム
第33回子ども百人一首 カルタ大会	青少年センター	1/20	55名	18チーム
放課後教室・西浜児童会館 の開設	放課後教室等	4月～3月	39,146名	西浜児童会館は、 指導員が配置で きず休館
歯舞児童教室の開設	歯舞児童教室	4月～3月	8,360名	
花咲港児童教室の開設	花咲港児童教室	4月～3月	2,602名	
放課後子どもプラン事業	放課後教室等	4月～3月	5,810名	134事業
ねむろわんぱくチャレンジ 事業	各施設等	4月～3月	ブロンズ賞 14名 シルバー賞 13名 チャレンジ大賞 4名 マイスター 7名	
子どもの日のつどい	総合文化会館	5/3	1,300名	
高齢者とのふれあい事業	西浜児童会館	5/2 ～2/2	120名	4回

【読書活動の推進】

事業名等	開催日時	参加者等	備考
「ブックライフ応援事業」 (ブックスタート事業)	毎月	回数 12回 対象親子 129組	参加率 100%
「ブックライフ応援事業」 (セカンドブック事業)	9/12 ～10/4	市内8小学校 1年生児童 171名	15冊の図書リストから 希望の1冊を贈呈し、趣旨 を含め読書普及した。
「ブックライフ応援事業」 (絵本講演会)	11/11～ 11/12	講演会参加者 150名 ワ-クショップ 100名 学校講演会 花咲小学校 219名 海星小学校 21名	講師いわいとしお氏
ちいさい子のおはなし会	毎週火曜	回数 48回 参加人数 358人	乳幼児 196人 大人 162人
土曜おはなし会(ボランテ ィア)	毎週土曜	回数 43回 参加人数 474人	ボランティア延べ人数 130人

「こどものつどい」	年5回	回数 5回 参加人数 485人	子ども271人 大人214人
「親子読書会」の育成	通年	例会参加親子 延べ459人	3会・21組=47人
読書推進 学校等訪問事業 (うち「乳幼児親子向けお はなし会」)	随時 (年9回)	件数 33件 参加人数 1,269人 (内) 保育所・小学校・放課後教室 = 24件・1,078人 子育て支援施設 = 9件・191人	
図書館訪問・調べ学習 受入れ	通年	保育所・小中学校 11件・276人	
学級文庫ブックバンク事業	5~11月	52クラス 1,100人	小学校38クラス 中学校14クラス

### 施策評価

- 「教えて地域の先生」については、地域のボランティア講師が小中学校の授業の中で、ラジオ体操や浴衣の着付けなどの指導を行い、「地域の先生」として学校と地域の交流を図り「子どもは地域で育てる」環境の醸成に努めている。
- 「子ども会リーダー研修会」については、清掃ボランティアや募金活動の他、宿泊研修に生涯学習関連施設の見学やさくらんぼ狩り体験などを加え、社会性や責任感、集団活動での協調性を養いリーダー育成に努めている。
- 放課後教室等の慢性的な指導員不足を解消するため、市独自で「子育て支援員研修」を実施し、新たな人材の確保を図ったが、任用希望者がおらず、指導員体制が依然として整わない状況にある。
- 西浜児童会館の指導員体制を整えることができなかったため、臨時休館としている。
- 各放課後教室等において、各種事業に地域の方々を講師として、交通安全紙芝居や四島かるた、夏・冬休み午前開設時の学習の時間や高齢者とのもちつき交流などを実施し、地域との交流、異世代間交流などの推進に努めている。
- 町会が管理運営する児童小公園内に設置している遊具の修繕や劣化の著しい遊具の撤去などを行い、子どもたちが安心して活動できる地域の遊び場の確保を図っている。
- 図書館、学校、家庭が連携して取組を推進することにより、さらなる読書意欲を高め、家庭

内での「読書コミュニケーション」(家読)を促進している。

- 子どもたちの読書に親しむきっかけ作りや読書習慣の形成を図ることを目的に、乳幼児期における「ブックスタート事業」と、すべての小学校1年生児童を対象とする「セカンドブック事業」を継続して実施している。
- 「絵本講演会」では、絵本作家のいわいとしお氏に絵本『100かいだてのいえ』から広がる世界と題して講演をいただくとともに、「みんなでつくろう！100かいだてのいえ」のワークショップを実施し、親子参加者の好評をいただいたほか、花咲小学校・海星小学校において学校講演会も実施し、児童が真剣に耳を傾けた。
- 「2018・第72回読書週間」行事の一環として、オホーツク風雲ワクワク団を招き「こどものつどい」を開催し、90名の親子が工作で「作る楽しみ」や、パネルシアターと人形劇による「物語の楽しみ」を体験した。
- 「1年生親子読書会」は、少子化等に伴い、近年の応募が少ない状況を考慮し「1・2年生親子読書会」として、2組4名の親子で発会し、例会では「1日司書体験」「としょかんキャンプ」など、親子で楽しみ、語り合えるような体験型の企画を多く行い、新たな会員の獲得へとつなげ、年度末で12組24名となっている。

## (6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

### 執行方針

市民一人ひとりが心豊かで健康な生活を送るためには、生涯を通じて積極的に学ぶとともに、その成果を生かせる環境づくりが大切であり、さまざまな学習機会や情報を提供する取組を進めていくことが求められます。

- そのため、まず、文化の振興につきましては、根室市総合文化会館事業協会との連携の下、引き続き市民に対して優れた芸術鑑賞機会の提供に努めるとともに、根室市文化協会等と協働して市民の芸術文化活動の支援や発表機会の提供に取り組んでまいります。
- 次に、長年、地域の遺跡調査に取り組み、多大な功績を残されてきた北構保男氏から昨年寄贈いただいた埋蔵文化財につきましては、十数万点に及ぶ資料の内容が概ね把握できましたことから、その一部について歴史と自然の資料館で常設展示を行い、また、一般向け図録集を発行するなどしながら、今後の保存・活用方策を検討してまいります。

- また、根室市が誇る国指定史跡「根室半島チャシ跡群」や天然記念物の動植物について、今後とも、根室市文化財調査委員会などとの協議の下、保護・保存に努めるとともに、管内1市4町の文化財を活用した観光地域づくりを目指す「日本遺産」の登録について、本年1月に北海道教育委員会を通じ文化庁に共同申請書を提出したことから、今後、その認定の可否を見据えながら、引き続き文化財の適切な活用にかかる情報発信等を進めてまいります。
- 次に、公民館活動につきましては、市民ニーズの把握や新たな視点からの講座開設などに取り組みながら、引き続き幼児期から高齢期にわたる学習機会の充実を図り、青少年から大人まで、市民の幅広い自主的・主体的な参画を進め、地域コミュニティの活性化に努めてまいります。
- 次に、スポーツの振興につきましては、本年で30年目を迎える「スポーツ・健康都市」宣言の推進のため、市民だれもが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるよう、指導者養成やスポーツ少年団の育成・活動支援、各種スポーツ教室の開催、ニュースポーツの普及をはじめ、温水プール配管等の施設設備改修を実施するなど、引き続き各種団体と連携・協力の下、スポーツ環境の整備に努めてまいります。
- また、昨年度、新たなスタートを切りました「最東端ねむろシーサイドマラソン」につきまして、今年度も、市民の健康増進や体力の向上、心身の健全な発達を推進することを目的に開催するとともに、全国から訪れる愛好者との交流の機会を捉え、北方領土返還要求運動や地域振興に資する情報発信に努めてまいります。
- さらに、総合体育館の建設に向けましては、昨年に引き続き「ふるさと応援寄附金」から建設基金の増額をいただいたところであり、今後は、さきを実施した市民・利用者意向調査の結果などを踏まえ、引き続き「根室市総合体育館整備市民委員会」において、建設にかかわる基本的な方向性の検討を進めていただき、基本方針の策定を目指してまいります。
- また、文化・スポーツ両面において児童・生徒の全道・全国大会遠征費を補助する「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」につきまして、その対象範囲を拡充するほか、事業内容に新たにスポーツ講演会の開催や芸術文化の鑑賞・体験機会の提供などを加え、制度の充実に努めてまいります。
- 次に、図書館活動につきましては、市民にとって親しみのある読書・学習活動を支える拠点施設として、今後とも資料や利用環境の整備・充実を図るとともに、「おとな」の読書活動を一層推進していくため、郵便局と連携した「まちなかライブラリー」や「高齢者図書お届けサービス」など、地域との連携を深めながら各種事業に取り組み、市民の読書の楽しみを支援してまいります。

## 主な事業内容等

### 【社会教育活動】

事業名等	場所等	開催日	参加者等	備考
文化賞贈呈式	総合文化会館	11/23	88名	文化賞1個人
成人式	総合文化会館	1/13	187名	
若ものの学園	総合文化会館 他	5/26~11/21	100名	7講座14回
青年交流事業 ・ボウリング大会 ・バスツアー	ボウリング場 市内	6/23・3/9 8/5	42名 1名	
根室市青年国内研修事業	高知県	3/2~3/4	2名	

### 【別当賀夢原館利用状況】

項目		平成30年度	
		利用件数	利用者数
利用		32件	121名
使用	専用	28件	554名
	宿泊	17件	330名
	使用計	45件	884名
合計		77件	1,005名

### 【文化会館活動】

事業名	場所	開催日・回数	参加者等
舞台芸術鑑賞事業	総合文化会館	7/4、8/16、10/15、 1/10 4回	1,595名
各種団体との連携による事業 ・第65回写真道展根室巡回展	総合文化会館	10/5 ~ 10/10	629名
グループ美術展	総合文化会館	6/22 ~ 6/24	888名
全道展道東地区展（根室特別展）	総合文化会館	8/8 ~ 8/12	616名
二科会写真展根室巡回展	総合文化会館	2/2 ~ 2/7	442名
2019みんなでオンステージ in ねむろ	総合文化会館	2/17	700名
姉妹都市黒部市文化作品交流事業	黒部市国際文化セ ンター「コーレ」	10/26 ~ 10/30	735名
児童生徒音楽大会	総合文化会館	9/30	818名

(その他) 大ホール使用状況	総合文化会館	50件	20,206名
小ホール使用状況	総合文化会館	37件	5,573名

【公民館活動】

事業名	場 所	開催日・回数	参加者等
パパママ学級(旧母親教室)	公民館	5/20~2/27 年4期	128名
あそびの広場 (旧親子で学ぶふれあい教室)	公民館 他	5/18~2/16 14回	476名
伝統文化・郷土芸能体験 プログラム	各小学校	6/12~ 3/1 8校	228名
成人学校(16講座)	公民館	6/7~3/22 年3期	144名
音訳ボランティア養成講座	公民館	5/17~6/28 7回	7名
寿大学	公民館 他	4/16~3/25 23回	829名
市民大学	公民館	10/12~10/26 3回	160名
女性セミナー	公民館 他	4/26~3/8 13回	239名
公民館分館講座	歯舞分館	4月~3月 22回	102名
移動公民館講座	地域会館 他	5月~3月 16回	108名
根室市文化祭	公民館・文化会館	10/27~11/25	4,103名
子ども書き初め教室	総合文化会館 他	1/7~1/10 6カ所	115名
北海道巡回小劇場	海星小学校	8/24	129名
釧根「絵手紙」移動展	公民館	7/18 ~ 7/22	270名
道民芸術祭地方祭 ・管内民謡のつどい ・管内文芸大会 ・管内総合芸術展	標津町 中標津町 羅臼町	7/22 9/8 11/30~12/3	180名 32名 400名
芸術・文化情報提供事業	総合文化会館	毎月1回 12回	—

【総合文化会館整備】

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費
総合文化会館整備事業	マニラロープ交換工事、ホール用ワイヤレスマイクシステム一式更新他	11,106

【博物館活動】

事業名等	場所等	開催日	参加者等
企画展「レッドデータ根室の生き物～根室に暮らす絶滅危惧種たち～」	総合文化会館 コリドール	5/3~5/11	1,432名
自然観察会 「根室の宝物探し・ビーチコーミングを楽しもう」	長節海岸	7/21	22名

北海道 150 年事業/松浦武四郎生誕 200 年記念 「松浦武四郎根室管内巡回パネル展」	総合文化会館	9/4~8	675 名
史跡見学会「平和について考える 戦跡めぐりコ ース」 市政ウォッチング共催	南部沼トーチ カほか	8/19	40 名
「北方四島の過去と現在・未来に何を伝えるか ー歴史・文化遺産を伝えるー」 (北海道博物館公開講座シンポジウム共催事業)	道立北方四島 交流センター	12/8	85 名
資料館ラボ Vol.8 「鳥たちの冬の暮らしを知ろう・足環付け調査 をちょこっと体験」	フィールドイン 風露荘	12/22	18 名
学芸員講演会 「根室市のオホーツク文化遺跡の概要」 「別当賀川をのぼるサケとホッチャレを食べる のは？」	総合文化会館	3/22	60 名
ねむろマチカドミュージアム展示 (年 2 回、展示内容を更新)	道の駅ｽｸ44、 大地みらい信金 本店、望郷の家	4 月~3 月	—
学校及び放課後教室と連携した出前講座	市内小学校等	4 月~3 月	551 名 12 回
藤野家文書解読会	総合文化会館	4 月~3 月 月 2 回	174 名
国・道・市指定文化財巡視	根室半島一円	随時	—
歴史史跡標柱等巡視	根室半島一円	随時	—

【スポーツ活動】

事業名等	場所等	参加者等	備考
特別巡回ラジオ体操・みんなの体操 会	北斗小学校グラウンド	320 名	
ふまねっとフォローアップ研修会	根室市総合文化会館	25 名	参加対象者 72 名
平野真理子少年卓球教室・講演会	青少年センター 根室市総合文化会館	46 名 150 名	教室 講演会
第 30 回根室市子ども会バドミント ン大会	青少年センター	43 名	団体 8 チーム 26 名、個人 17 人
第 51 回根室市総合体育祭	青少年センター他	770 名	12 種目
第 2 回最東端ねむろシーサイドマラ ソン	青少年センター~ 道道オホーツク折返	1,053 名	ハーフ・10K・5K 3K・1K
第 34 回根室市小学生陸上競技大会	根室市運動広場	48 名	

第 26 回市民ソフトバレーボール大会	青少年センター	79 名	12 チーム
第 45 回根室市フットサル大会	青少年センター	243 名	32 チーム
第 62 回根室市スケート大会	総合運動公園 スケートリンク	63 名	
第 61 回厚床-根室駅伝競走	旧厚床小～市役所	44 名	一般 4 チーム 高校 2 チーム
第 53 回根室市子ども会卓球大会	青少年センター	32 名 延べ 58 名	団体 7 チーム (26 名) 個人 32 名
「ねむろギネス」に挑戦！記録会	河畔グラウンド他	70 名	2 種目
トレーニング機械指導者養成講習会	温水プール	172 名	毎月 1 回開催
小学生スケート教室	総合運動公園 スケートリンク	23 名	申込 24 名
初心者ミニテニス教室	青少年センター	名	中止
学校開放事業	小・中学校	6,422 名	小学校 3 校 中学校 4 校
スポーツ少年団活動支援事業	小・中・高生	650 名	16 団体 団員 517 名 指導者 133 名
根室市スポーツ奨励賞表彰式	総合文化会館	93 名	1 団体、2 個人
第 1 回・第 2 回チビっ子水泳教室	温水プール	46 名	H31 就学の幼児
第 1 期・第 2 期とんぎょコース水泳教室	//	728 名	小学 1～3 年生
とんぎょ中級者水泳教室	//	106 名	小学 2、3 年生
やまべコース水泳教室	//	70 名	小学 4～6 年生
第 1 期・第 2 期のんびり水泳教室	//	155 名	一般市民
第 1 期・第 2 期・第 3 期・第 4 期らくらく水中運動教室	//	153 名	一般市民

第1期・第2期・第3期さわやか水中運動教室	温水プール	483名	一般市民
第1期・第2期・第3期・第4期大人の水泳教室	〃	230名	一般市民
第1回アクアピクス講習会	〃	18名	一般市民
第1期・第2期脂肪燃焼コース	〃	84名	一般市民
サブインストラクター養成講習会	〃	16名	高校3年生以上の一般市民
大人の初めてプール教室（朝・夜）	〃	70名	一般市民
幼児ひよこさんコース	〃	21名	年少
幼児ぺんぎんさんコース	〃	25名	年中
夏休み短期水泳教室（低学年・高学年）	〃	128名	小学1～6年生
マイペース教室	〃	120名	一般市民
さわやかストレッチ運動教室	〃	320名	一般市民
温水プール無料開放事業	〃	1,104名	
水泳指導者研修会	〃	2名	市内水泳指導員
総合型地域スポーツクラブ「ねむろコミュニティスポーツくらぶ」による各種事業の開催	北斗小体育館で週1回の定期活動	会員30名	
ファミリー登山			中止
春国岱自然観察と清掃活動（及び焼肉交流）	春国岱	24名	
カヌー体験	別当賀川	5名	1回実施
乗馬体験	根室乗馬クラブ	22名	2回実施
楽しいピンポンの集い	青少年センター	32名	市民も対象
楽しいミニテニス交流会	青少年センター	名	参加者なし
北方領土まで歩こう会	納沙布	8名	

楽しい餅つき交流会	北斗小学校	21名	
-----------	-------	-----	--

【施設整備関係】

事業名等	事業内容	事業費 (単位:千円)
温水プール整備事業	・温水プール暖房設備改修工事	34,560
社会体育施設整備事業	・根室市歯舞パークゴルフ場電源引込工事 ・総合運動公園第2キュービクル内部改修工事 ・総合運動公園サッカー・ラグビー場照明設備改修工事 ・総合運動公園スケートリンク路面舗装補修工事 ・青少年センター階段補修工事	2,293

【図書館活動】

事業名等	開催日時	参加者等	備考
職業体験学習・図書館実習・教員研修	随時	3件 9人	中学4校/7名 高校1校/2名
各種「本展示コーナー」開設	随時	回数30回 展示図書2,790冊	「春のおいしいパンまつり」他
一般・高齢者向け図書館サービス「図書館カフェ」	8月～3月	回数5回 (8/26, 10/7, 11/3, 2/3, 3/3) 参加者数計164人 (図書館ボランティア・協力者計19人)	
「高齢者図書お届けサービス」	偶数月	高齢者施設8ヶ所 (老人福祉センター・特養はまなす園 他) 8施設＝96件/3,629冊配本	
「雑誌スポンサー制度」	通年	スポンサー登録企業8社・2団体＝16雑誌	
移動図書館車の定期巡回	通年	市内32ステーション(火～金) 巡回日数162日 利用者総件数7,059件 貸出冊数76,970冊	
まちなかライブラリー	通年	市内11郵便局に設置 660冊配本：図書館蔵書外図書	

施策評価

- 「成人式」では、新成人で組織する実行委員会がオープニング及び式典を進行するとともに、スライドショー等の作成や、式典終了後プログラムの企画・実施を行い、団体活動をとおして社会性や協調性を培っている。

- 「若ものの学園」でスイーツやスキンケア・メイクアップなど7講座を開催し、青年が社会教育活動に参加する機会の提供に努めている。また、根室市青年サークル連絡協議会が実施する交流事業や国内研修事業の支援を行っている。今後、青年活動を育成し、より活性化するためには、青年団体などと更なる協議が必要である。
- 別当賀夢原館は、夏期に集中して、社会教育関係団体をはじめ、学校・少年団の宿泊研修や合宿等のほか、町内会の利用もあり有効活用が図られているが、利用者が減少していることから、冬期の利用促進が課題となっている。
- 「舞台芸術鑑賞事業」は、総合文化会館事業協会と連携して「トリオ・ドスアンコ+ハイコ」、「北海道歌旅座」、「東京スカパラダイスオーケストラ」のコンサートの開催や、「キエフ・クラシックバレエ」を開催するなど、多方面の舞台鑑賞機会を提供している。
- 「根室市文化祭」は、根室市文化協会との協働のもと、「文芸」「展覧」「ステージ」の三つの部門で作品展示や舞台発表などが行われ、郷土文化の振興が図られている。
- 「成人学校」は、ボールペン字や骨盤調整など16講座を開催しており、アクセサリーやニュースポーツなど3講座を新たに実施するなど、入門的な学習機会の充実に努めている。
- 各種団体と連携した「第65回写真道展根室巡回展」や「全道展道東地区展」など全道的な作品の鑑賞機会を提供することや、道民芸術祭地方祭における民謡のつどいや文芸大会などで成果発表により、市民が主体となって地域の文化振興が図られている。
- 家族や友人、地域で行われている様々な活動に対し発表機会を提供するため、関係団体と連携して「みんなでオンステージ in ねむろ」を開催し、仲間で歌や踊りを舞台上で披露することで互いのかかわりを深めることができた。
- 「寿大学」や「女性セミナー」、「市民大学」では、運営委員会を組織して学習内容を協議し、社会の変化に対応し主体的に学び続けるための講座を開催している。
- 函舞地区の移動公民館講座では、新たに認知症についての講座を開催し、学習機会の充実と地域のコミュニティづくりの一助としている。今後とも、公民館の各種事業を通して、指導者の育成・発掘や、各世代における学習ニーズに応じた新たな学習プログラムの検討、さらに、学習成果をいかに地域活動につなげていくかが課題である。
- 総合文化会館の施設整備については、ホール吊物装置マニラロープ交換工事、ホール用ワイヤレスマイクシステム一式更新などにより、計画的に施設整備を図っている。
- 平成28年に北構保男氏から寄贈された考古資料については、資料的価値の高いものを常設展示するとともに、図録の発行や学芸員講演会を行うなど、根室市のオホーツク文化と北構コレクションの周知・啓発を図っている。

- 日本遺産については、標津町を中心に根室管内 1 市 4 町で連携し申請しているが、前年度に引き続き平成 30 年度も不採択となった。今後も、根室管内が連携しながら文化遺産の広域活用方策を検討し、再々申請の是非も含め検討を行っている。
- 市内には、国、道、市が指定する文化財をはじめ、多数の文化遺産が所在しており、関係者、外部委員と意見を交わしながら適切な保護管理に努めている。
- 近年、カラフトルリシジミの不法採取の逮捕者が出ていることから、天然記念物保護対策会議を開き、関係機関との一層の連携を図り、国指定天然記念物カラフトルリシジミと落石岬のサカイツツジ自生地の適切な保護や管理に資するべく、定期的な巡視を実施している。
- 国指定史跡根室半島チャシ跡群のうちヲンネモトチャシ跡とノツカマフ 1・2 号チャシ跡は、草刈等、市民や観光客の来訪に配慮した整備を実施し環境維持に努めている。
- 当市には天然記念物、史跡など文化遺産が多数あり、これらを有効活用するため、調査・研究成果を、展示事業、講演会、自然観察会や史跡見学会などを通じ、市民に還元するとともに、普及・啓発を図っている。
- 大地みらい信用金庫本店ほか市内 3 箇所に設置している資料館のサテライト展示「ねむろマチカドミュージアム」については、展示内容を半年ごとに更新し、郷土資料や自然資料の紹介を行っている。
- 「根室市みらいのアスリート・アーティスト応援事業実施要綱」を利用しやすく改正するとともに、事業内容に講演会開催を加え、卓球競技日本代表の「平野美宇」選手の母親「平野真理子」氏講演会・少年卓球教室を実施した。
- 「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」がはじめて開催され、320 人の市民が参加した。今後も、市民が気軽に参加できる運動事業に取り組み、スポーツの普及・健康増進に努める必要がある。
- 第 2 回最東端ねむろシーサイドマラソンは、より多くの応援を受けられるようコースを大幅に変更し、完走賞の「花咲かに」、ハーフ・10km・5km 参加賞の「大判タオル」、会場内での根室名産市などは昨年同様とした結果、昨年を 14 人上回る 1,053 人がエントリーし、北方領土返還要求運動や地域振興に資する情報発信につながっている。
- 子どもたちの体力向上と健やかな成長を目的に開催している小学生陸上競技大会は、48 名の参加により、トラックとフィールドで 9 種目の競技を実施したが、参加者が年々減少しているため、今後、実行委員会において参加者の維持・増加に向けた検討が必要である。

- 総合体育祭は年に一度のスポーツの祭典として、12種目の各種スポーツ大会を実施したが、人口減や少子高齢化の進展により競技人口や運営役員が減少し、参加者は年々減少傾向にあるため、今後、参加者の維持・増加に努める必要がある。
- 「総合型地域スポーツクラブ」として9年目の活動を開始した、「ねむろコミュニティスポーツくらぶ（ぶらっと）」の活動は、定期活動をはじめ一般市民を対象とした乗馬・カヌーなどの野外活動を実施したが、定期活動に関しては参加者が減少してきていることもあり、新種目の活動を考えていかなければならない。今後も会場の確保や指導者育成など、自主活動を尊重しながら、支援に努めていく必要がある。
- 小学生スケート教室は、1・2年生の初心者を対象にスケートの基本を指導し、冬季スポーツの楽しさを体感させることができたとともに、教室終了後は、受講者が市スケート大会に参加するなど、大きな成果があがっている。
- トレーニング理論や機器の操作方法を教えるトレーニング機械指導者養成講習会は、毎月1回開催しているが、健康志向の高まりや、夏季が短い根室市の気候から、室内トレーニングの利用者が増えており、今後、講習会の曜日設定や回数等、受講者の利便性を図るとともに、利用者ニーズに応じた機器の更新について検討する。
- 地域ぐるみの健康づくりとコミュニティの向上を目的に実施している「ふまねっと」については、サポーターやインストラクターを対象に活動意義や目的の復習及び指導技術の基本を再確認することを目的に、「ふまねっとフォローアップ研修会」を開催している。
- 2年続けて施工した温水プール暖房設備改修工事により、温水プールが使用できない期間においては、昨年に引き続き航空自衛隊のプールを借用することで、利用者ニーズに対応することができた。社会体育施設の多くが老朽化している中、今後とも各種制度の活用も視野に入れながら、安全性や緊急性、市民要望を考慮しながら計画的に施設整備を図っている。
- 総合体育館の建設については、「市民・利用者の意識調査」を基に、根室市総合体育館整備市民委員会で「(仮称)根室市総合体育館」整備基本方針(素案)について協議を進めている。
- 温水プールについては、教育委員会の直接管理となり、利用者や競技団体から直接ご意見やご要望を聞きながら、魅力ある温水プールづくりを進めている。
- 水泳の普及・振興と水泳の生活化を推進するため、無料開放や臨時開館事業を実施し、利用機会の増加を図っている。また、水泳を幅広い年齢層に親んでもらうため、幼児から大人までを対象とした各種水泳教室や水中運動教室等を実施するとともに、プール室の使用ができなかった工事期間中においても、「さわやかストレッチ教室」の実施やトレーニング室を開放するなど、温水プールの利用者の拡大に努め、前年度比50名の利用者増となり、今後

も更なる利用者の拡大に向け、利用者のニーズを把握し、参加者が楽しめる多種多様な事業、教室を検討に努める。

- 図書館ボランティアと協働で開催している大人・シニア向け図書館サービス「図書館カフェ」を5回開催し、多くの参加者の好評を得ている。
- 高齢者に読書機会・読書環境を提供し、読書普及を図る「高齢者図書お届けサービス」を、高齢者施設の協力を得て8施設で展開し、毎月定期的に配本を行っている。
- 「雑誌スポンサー制度」は登録促進 PR 等の効果により、新規登録 2 社を加え、8 社・2 団体から 16 誌のスポンサー登録をいただいている。今後とも、企業・団体等へ「雑誌スポンサー制度」の宣伝効果と地域貢献に結びつく活動であることを広く周知しながら、登録を働きかけ、さらなる資料提供の拡充と図書館サービスの充実を目指していく。
- 「生活の身近なところで気軽に本に触れることができる環境づくり」を目的に、市内郵便局のスペースを借りて「まちなかライブラリー」を設置し、平成30年8月からは4郵便局が追加され、市内全11郵便局で実施している。

貸出手続が不要で、気軽に身近な郵便局で利用することができるため、市民の認知度も向上し、郵便局員の方々のご協力により利用率も順調に推移している。
- 図書館における貸し出し数は、対前年度比 4,582 冊減の 170,954 冊となった。引き続き、資料の充実、事業展開、連携・協働等における創意工夫を行い、より一層の利用促進に努める必要がある。

## 学識経験者の意見（総評）

○ 松 井 信 輝 氏 （元根室市立花咲小学校校長）

### （１）「確かな学力向上」に向けた取り組みの推進

- ・ 根室市の教職員の年齢構成は若年教員が多い現状から、管内人事を活性化して、年齢構成の適正化を図る必要がある。研修を通じ、教育の諸課題に対応できる教育実践力・諸課題解決能力を持つことのできる研修の機会に積極的に参加し研鑽を積んで欲しい。
- ・ 標準学力調査の結果に基づき、根室市学力向上プロジェクト推進会議を設置し、調査結果を分析、指導方法の工夫改善及び授業改善に努めていることに評価ができる。  
また、検証も必要である。
- ・ 指導体制の充実・確かな学力の定着・習熟度別指導・語学指導の充実・生徒指導の支援の改善等に必要な教員を配置したことは評価できる。通年で配置できるように人材の確保に向けて要請活動を進めることを望みます。
- ・ 社会人・職業人として自立できるキャリア教育の推進のため、職場体験等が実施されていることは、評価できる。
- ・ 体力・運動能力、運動習慣の調査では、中学校で男子の握力を除き、全国平均を下回る結果から、具体策を講じる必要がある。
- ・ 「根室市確かな学力向上に関する取組方針」に基づいて、家庭での学習習慣の必要性を保護者に訴えた結果の検証。また「生活リズムチェックシート」を活用し、家庭での学習習慣・生活習慣の定着に学校と家庭が連携した取組みの検証が必要です。  
「スイッチオフ２２」に取り組んでいることはとても評価できる。
- ・ 文科省事業の指定を受け、検証改善サイクルを基盤とした授業改善を図る調査・研究。学校周辺の自然を生かした学習を深めるモデル校等特色ある学校の取組みに指導助言出来る体制の構築が必要である。

### （２）「豊かな人間性の育成」に向けた取り組みの推進

- ・ 児童生徒の問題行動や虐待の疑いに対し関係機関と連携を取り、迅速かつ適切な対応が取られている。「命を守る」ことを最優先に取組み進めてほしい。
- ・ スクールカウンセラーの配置、いじめ相談室の開設、ホームページの開設等相談しやすい環境作りに配慮していることにとっても評価できる。

- 「根室市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域・関係団体と連携して毅然と対応すること、「いじめのない明るい学校作り」をテーマに子供たちが主体的に考える機会や課題解決に向けて自治力向上を図っていることを心強く思っている。

### (3) 特別支援教育の充実

- 乳幼児から一貫した支援を目指す「根室市育ちと学びの相談室『りんくす』」が設置され、関係機関との連携体制の構築や相談機能の充実が図られていることに対して評価したい。
- 「子育てファイル“りんくす・ねむろ”」を乳幼児から中学生まで配布されている。家庭での有効活用・教育ニーズに応じた利用のために支援を図ってほしい。
- 特別な支援を要する児童生徒に対する教育環境の整備、指導体制の充実や保護者の教育相談や就学指導を充実していただきたい。

### (4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

- 「根室市立小中学校適正配置計画」の説明会での意見を参考にして、教育効果が高められる教育環境の整備・移転計画を推進されることを望みます。
- 根室市通学路安全プログラムに基づいて、関係機関と連携し通学路の危険個所の点検から安全確保が図られている。点検を定期的に行い、家庭に周知し注意を促したり通学路の見直しを図る必要がある。防災教室を開催するなどして、防災意識の高揚を図る必要がある。

### (5) 地域で子どもを育てる環境作りの充実

- 「教えて地域の先生」事業は、「子どもは地域で育てる」環境作りに大いに貢献している。ボランティア講師を確保するために、学校の要望に対応するため地域の先生をデータベース化することを考えてはいかがか。
- 働く保護者が増えている現状では、放課後の居場所作りとして安全に遊べ・集団活動できる放課後教室・児童教室が運営されていることは評価できる。指導者不足で休館している現状から早急に指導者の確保に努めてほしい。また、各種事業に地域との交流・異世代間交流を積極的に取組まれていることにとっても好評である。

- ・ 小学校 1 年生児童に対しての「セカンドブック事業」は、読書習慣の形成・読書意欲の向上に大きく寄与し好評である。継続されることを望みます。また「1・2年生親子読書会」になり、体験型の企画をするなど好評で会員獲得がなされている。

#### (6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育委活動の充実

- ・ 新成人で組織する実行委員会が主体となり企画・準備・式典の進行・式典終了後のプログラム等団体活動を通して社会性や協調性を培い将来根室を背負って立つ有効な機会と捉え、継続されることを望む。
- ・ 「若ものの学園」では、青年が社会教育活動に参加する機会の提供に努めたり、交流・研修事業の支援を取られていることに好感がもてる。今後も継続されることを願う。
- ・ 別当賀夢原館の利用状況は、夏季に有効活用がされているが、冬季の利用促進が課題となっている現状から、冬季にしか出来ない用具を準備し貸出したり、周辺整備を図ってみることも一案。
- ・ 「根室市文化祭」は、文芸・展覧・ステージの部門で創造性豊かな作品展示や舞台発表が披露されるなど郷土文化の振興に大きく寄与している。市民の発表の機会を大切にしていきたい。
- ・ 「寿大学」「女性セミナー」「市民大学」等で運営委員会を組織し、学習内容を協議し、主体的に学び続けるための講座を開催するなど好評である。市民の学びの機会を大切にしていきたい。
- ・ 歯舞地区で移動公民館講座が開催され、学習機会の充実と地域活動に寄与されたことは意義深く、多くの課題を克服されて各種事業を開催されることは意義深い。
- ・ 北構保男氏から寄贈された考古学資料については、資料的価値が高く常設展示・図録の発行・講演会を開催するなど根室市のオホーツク文化の周知・啓発を図り、適切な保管・管理・広報活動に努めてほしい。
- ・ 根室市が誇る歴史遺産・天然記念物の保護や保存に努められ、観察会・見学会・講演会等で市民に学習の機会を提供していることは、大変好評である。貴重な文化財・文化遺産の保護・管理、普及・啓発に一層努めてほしい。
- ・ 日本遺産については、根室管内が連携しながら文化遺産の広域活用方策を検討され申請をしていただきたい。
- ・ 子供たちの体力向上と健やかな成長を目的に開催している小学校陸上競技大会、スポーツの祭典としての総合体育祭には、参加者が減少傾向にある。実行委員会で、参加者の維

持・増加に向けた検討が必要である。参加者がいる限り、少ないから中止としないでほしい。

- 「総合型地域スポーツクラブ（ぷらっと）」に参加者が減少傾向にある中で、新種目の活動や会場の確保や指導者育成など、自主活動を尊重しながら支援に努めてほしい。
- トレーニング機械指導者養成講習会には、健康志向の高まりや室内トレーニングの利用者が増加傾向にあるということから、利用者のニーズに応じた機器の導入を検討してほしい。
- 水泳の普及・振興と水泳の生活化を推進するために、無料開放や臨時開館事業、各種水泳教室・水中運動教室を実施し好評である。利用者のニーズを把握し参加者が楽しめる多種多様な事業・教室の検討を進めてほしい。
- 小学生スケート教室は、初心者の児童にとって素晴らしい取組みで保護者にとっても期待するところです。継続していただきたい。
- 「まちなかライブラリー」を全郵便局に設置され、認知度も向上し郵便局員の方々の協力により利用率も向上している。気軽に本に触れる環境が出来たことはとても評価されているので継続してほしい。
- 高齢者に読書機会・読書環境を提供し読書普及を図る「高齢者図書お届けサービス」を、高齢者施設で実施していることに好感を持てる。継続していただきたい。
- 「雑誌スポンサー制度」に共感され多数登録されている。多くの企業・団体に宣伝効果・地域貢献に結び付く活動を周知すると共に、資料提供拡充と図書館サービスの充実を図ってほしい。
- 社会体育施設等の多くで老朽化が進んでいるという、早急に安全性や緊急性を最重要事項と整理し、計画的に施設の整備を進めていただきたい。スポーツ振興の拠点施設となる総合体育館の建設が進められることを願いたい。

○ 原 田 純 子 氏 （根室市社会教育委員長）

（１）「確かな学力向上」に向けた取組の推進

- 子供たちの学力の向上として「読むこと」を重点課題の一つとしていることは大いに評価します。少子化が進んで、子ども達が少なくなっている今、一人一人の習熟度に合わせた、学べる環境を作ることが必要です。
- 学力向上プロジェクト会議の先進地視察研修を行い、他地域の状況を知り、根室市全体の授業力向上が図られていることは評価します。今後も視察研修を継続していただきたいです。
- 朝読書・朝学習・補習授業をすべての学校で実施していることは評価できます。ただ実施しているから良いということではなく、一人一人の習熟度を見ながら、適正な学習状況に目を向けていくことが必要です。
- 「生きる力」を身に付けるキャリア教育の推進により、全中学校で職場体験を実施していることは評価します。今後も職場体験の協力企業を募集し、様々な選択肢の中から職場体験ができるよう継続していただきたいです。

（２）「豊かな人間性の育成」に向けた取組の推進

- 「いじめのない明るい学校づくり」子ども会議を開催することで、子ども達が主体的にいじめについて考える機会があることは評価できます。いじめがなぜ悪いのか、もしも自分がその立場になったらという「想像力」をもった子ども達に育ててもらいたいです。
- 「ふれあいクラブ弥生」に通っている不登校児童生徒の支援は今後も継続が必要です。不登校に至った原因や経過を把握して、新たな居場所を設けることが必要であると考えます。
- 北方少年少女塾の参加については、根室が北方領土返還要求原点の地であることを認識することができ、返還要求運動を継続していく関心を深めるために必要な学習であると思います。今後は北方四島交流事業へ一人でも多くの参加者が増えれば、より関心が深まると思うので継続し発展させていただきたいです。

（３）特別支援教育の充実

- 特別支援学校分校・分教室が根室市に設置、実現されるよう北海道教育委員会への要望を重ねていくことを、今後も継続していただきたいです。

- 特別支援教育が必要な子ども達が、市内の高校で学べることは、市外へ転出しなければならなかった現状からみると人口流出を防ぐ一助になると思うので、積極的な特別支援教育推進を要望します。

#### (4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

- 義務教育学校の設置については、学校、保護者、地域と連携したコミュニティスクールの導入も今後は見込まれますが、コミュニティスクール研修会等を開催し、制度を充分理解したうえで導入することが望ましいと思います。
- 地場食材を使ったふるさと給食の実施は3回となっていましたが、前年度は4回実施されていました。今後は可能な限り回数を多くしていただきたいです。
- 北斗小学校のトイレが洋式化され、清潔感のあるトイレ整備になったことは評価します。明るい清潔感のあるトイレの改修を可能な限り他の学校でも実施していただきたいです。

#### (5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

- 「教えて地域の先生」として学校と地域の交流を図ることは、今後、義務化されるコミュニティスクール導入の参考になると思うので、新しい分野の地域の先生が増えることを期待します。
- 放課後教室等の指導員養成のために実施した「子育て支援員研修」は、今後も継続していく事が必要です。研修を実施するにあたって、任用に関しての要望等アンケートを実施し、指導員不足の原因を探り、指導員体制が充実するよう検討していただきたいです。
- 各放課後教室においては、異世代交流や、地域住民との交流が活発に行われていることを評価します。
- 読書習慣の形成を図るために実施しているブックスタート事業や1年生のセカンドブック事業で、子どもが読書に親しむ環境に取り組んでいることを評価します。セカンドブック事業は、子どもや保護者自らが選んだ本を受け取ることが出来るので子どもにとっては特別な1冊になります。今後も本が身近にある環境を、図書館と協力しながら市全体で取り組んでいただき、「読むこと」の成果につながることを期待します。
- 絵本講演会の開催は、子どもたちの読書普及推進に多いに役立つと思います。作家とふれあうことで、読書への関心がさらに深まることが期待できるので今後も継続していただきたいです。

- 「1年生親子読書会」は、近年参加親子が少なくなってきた存続が危ぶまれていましたが、としょかんキャンプなど親子で楽しめる体験型の企画を実施することで、新たな会員が増えたことは評価します。
- 読書会経験者の子どもたちは、毎年開催している「古本市」に、積極的にボランティアとして参加しています。一般ボランティアの人たちや古本市を楽しみにしていた市民と交流ができ、地域と関わる貴重な体験ができていると思います。
- 「子ども会リーダー研修会」で育った子どもたちは、社会性や自主性、協調性等が育まれるので、評価できる事業です。
- 根室市の子どもたちが、地域に誇りをもって成長していくことがとても重要だと感じています。北方領土学習や、地域の遺跡や文化、地域を支える産業等をしっかり学び、交流姉妹都市と積極的に交流して、子どもたちを派遣し、相手地区の子どもたちと意見交換をするなど、地域を考える体験をさせていくことを今後考えていただきたいです。

#### (6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

- パパママ学級やあそびの広場の参加者が、前年度に比べて増えていることは評価します。人口減少は高齢化が進む日本全体の問題ですが、根室市で一人でも多くの赤ちゃんが誕生し、その子どもたちを地域全体で育てていくという方針をたてて、根室の未来を担っていく人材を育てていく施策を強く要望します。
- 「若ものの学園」の講座が増えたことで、参加者が増えていることは評価できます。
- バスツアーの参加人数が少ないことの原因を把握しているのでしょうか？
- 北構保男氏から寄贈された考古資料については、資料館に常設展示されていますが、地理的な問題で足を運べない市民も多くいると思うので、総合文化会館での特別展示会が開催されるのが望ましいです。
- 資料館のサテライト展示「ねむろマチカドミュージアム」については、市民が郷土資料や自然資料に身近に触れ合うことが出来る良い企画であり評価します。
- 温水プールのトレーニング室ですが、女性も簡単に使えるようなトレーニング機器の更新を検討していただきたいです。室内に閉じこもりがちな冬場の健康増進に役立ち利用者が増えるのではないのでしょうか。

- 温水プールの利用が増加していることは評価します。幼児から大人まで、多種多様な事業の成果だと思えます。大人のはじめてプール教室を夜に開催したことも利用者の増加につながっていると感じました。
- 図書館では、様々な読書活動の推進をしているのに貸し出し数が減少している事は残念です。移動図書館車の一般利用者を増やすことを課題として考えていただきたいです。

（１）「確かな学力向上」に向けた取組の推進

- 根室市の児童・生徒の学力について、標準学力検査内で、特定の領域・分野において正答率が落ち込んでいる内容について、最重点課題の取り組みが大事になってくると思います。今後、学力向上に向けた取組が必要となっておりますが、スピーディーに対策を講じないと、問題が山積みになると思われます。PDCA をしっかり回すことで、今年度の活動につなげてもらいたいと思います。色々なやり方はあると思いますので、手あたり次第対策するのではなく、一つ一つ問題点を解決していくことも大切だと私は思います。
- 学力向上等教員の配置については、児童生徒個々に応じたきめ細かな学習指導を推進することで、学力向上につながる効果的な取組のひとつですが、人材確保の難しさはあると思いますので、教員の確保に力を注いでいただけたらと思います。
- 子どもの学習意欲や学習時間などに問題を抱える児童・生徒が多い現状から、今後も「生活リズムチェックシート」の活用を継続的に行い、学校と家庭が連携し家庭学習の重要性を浸透させてもらいたいと思います。

（２）「豊かな人間性の育成」に向けた取組の推進

- いじめの問題に関しては、今後 SNS 等での陰湿ないじめが増加すると思われます。親や児童・生徒達がすぐに教員に相談できる関係性を築くことが大切で、学校としての真摯な対応が必要になってくると思いますので、いじめ根絶を目指すには、早期の対応が必要になってくると思います。学校と連携して PTA からの働きかけも必要であると考えます。

（３）特別支援の充実

- 少子高齢化が進む中で、根室市において特別な支援を要する児童・生徒の割合が増加しているため、個々のニーズに応じた早期からの一貫した支援を行うことで、よりご家庭が安心すると思いますので、今後も継続的してもらいたいです。
- 子育てファイル“りんくす・ねむろ”の取組についてはとても効果的な活動だと感じています。今後もより良い活用ができるようお願い致します。

（４）教育効果を高める教育環境の整備・充実

- ・ 児童・生徒の減少及び学校施設の老朽化が進む中での、小中学校の適正配置について、多方面からの様々なご意見があると思いますが、今後児童・生徒達が、学業面や生活面で1番良い環境に適しているかを考えてもらい、取組んでもらいたいと思いますが、保護者や地域の理解を得ることが大切になってくると思いますので、密に接してもらいたいと思います。

#### (5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

- ・ 引き続き子どもの放課後活動について、指導員確保のため「子育て支援員」の養成研修会を実施し、新たな人材の掘り起こしや確保を図ってもらい、「放課後子どもプラン」の充実に努めてもらいたいと思います。それには地域の方々の参画・協力が必要になってくるので、子どもたちの安心・安全を一番に考えて活動してもらいたいと思います。
- ・ 子どもたちの読書活動の推進について、学力向上の部分で読む力が問題点として上げられておりますので、自主的な読書活動を行うことができる環境づくりは、すごく重要なことになってくると思います。その重要性についてはご家庭にも案内文等で説明するなり、自主的に子どもたちが読書するように、学校やご家庭に働きかけるように活動してもらいたいと思います。

#### (6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

- ・ 遺跡調査で寄贈頂いた埋蔵文化財について、展示品を見に資料館へ行くことや、その歴史について授業を行う等、子ども達が様々な事に興味を持つように取組んでもらいたいと思います。根室市の歴史に触れ合うことは根室の子どもにとってはとても良い事だと思います。
- ・ 市文化祭やコンサートなど、質の高い芸術・文化に触れる機会が増えるように、とりわけ児童生徒に、本物に触れる機会が提供されることを望みます。
- ・ 根室市総合体育館の建設に向けて、今後も引き続き進めてもらいたいと思います。根室で各スポーツの大会が開かれることによって、根室市の経済発展にも繋がるとともに、地球温暖化が進む中で、夏季に行われる大会等につきましては、根室で行うことでも体調や健康面において、スポーツがやりやすい環境になるのではないかと思います。